

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公表番号】特表2006-520751(P2006-520751A)

【公表日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2006-501559(P2006-501559)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 9/68 (2006.01)**

**A 6 1 K 9/28 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/10 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/26 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/38 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/40 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/42 (2006.01)**

**A 6 1 K 47/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 9/68

A 6 1 K 9/28

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/40

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガムベースの少なくとも1つの内層と、

タブレット化装置のポンチへの付着を防止する抗付着賦形剤及び圧縮補助剤を含む外層とを含む、1以上の活性医薬、栄養分又は栄養性の成分を含有するタブレットであって、

該タブレットは、サンドイッチ様構造を有し、外層は、他とは接触しない抗付着賦形剤を含有し、各被覆はガムコアの上部及び底部のみであり、それらの外周側面は非被覆のままであるタブレット。

【請求項2】

2、3又はそれ以上のガムベースの内層を含み、それぞれは、他の層に存在するものと同ー又は異なる活性成分を含有していてもよい請求項1のタブレット。

【請求項3】

同じ又は異なる活性成分が、抗付着賦形剤/圧縮補助剤を含む1以上の外層に存在する請求項1又は2に記載されたタブレット。

【請求項4】

各層の異なる成分の混合物又は顆粒の直接圧縮によって得られる請求項1～4のいずれ

か 1 つに記載されたタブレット。

【請求項 5】

活性成分が、鎮痛、解熱、麻酔、抗アレルギー、抗炎症、抗真菌及び気管支拡張剤薬、抗生物質、心血管系に活性な薬物、充血除去薬、消毒剤、去痰剤、粘液溶解薬、咳止め、食欲抑制、鎮痙薬、プロバイオティクス、プレバイオチクス、酵素及び栄養補助食品から選択される請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載されたタブレット。

【請求項 6】

活性成分含量が、活性成分を含む層の重量に対して 0 . 5 % から 9 0 % の間であり、好ましくは 2 から 6 0 % である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載されたタブレット。

【請求項 7】

ガムベースの層が、ソルビトール、キシリトール、マルチトール、イソマルト、マルトール、マンニトール、マルトデキストリン及びシクロデキストリンからなる群から選択される流動化剤を含有する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載されたタブレット。

【請求項 8】

流動化剤は、0 . 5 から 7 0 . 0 重量%割合で存在する請求項 8 のタブレット。

【請求項 9】

抗付着賦形剤は、イソマルト、マルトール、マルトデキストリン、マルチトール、マンニトール、キシリトール、ラクチトール、ラクトース、スキムミルク、エリトリトール、オリゴフルクトース、レトログレード・スターチ、ポリソルベート、ポリエチレンオキサイド、デキストラン、シクロデキストリン、オリゴサッカロース、フルクトース、硬化スターチ・ヒドロシレートから選択される請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 つに記載されたタブレット。

【請求項 1 0】

マルチホッパー装置において、ガムベース組成物を、室温で直接タブレット化に付し、第 1 のホッパーから抗付着賦形剤が、圧縮ダイにまず供給され、続いて、別のホッパーからガムベースが、次いで第 3 ホッパーから抗付着賦形剤が供給され、得られ多層を圧縮することを含むタブレットの製造方法。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 の方法によって得られるタブレット。